

■目指す学校 「事実がよくなった、成長した」を実感できる子ども達と教師たちの充実した1年

○子どもにとって「自信をつけてくれる学校」(できた・わかった・みとめられた・自信がもてた)

○保護者にとって「信頼できる学校」(1年で学校が、先生方が、かわった)

○教師にとって「チームで取り組む学校」(明確な役割意識・責任ある仕事・自己の働き方改革)

■学校の教育目標

○進んで学ぶ子 (知)	○思いやりのある子 (徳)	○健康な体をつくる子 (体)
学力向上◎分かる・できる授業 全員を学習に参加させる	自分の学校意識・所属意識 縦割り活動・人に役立つ体験	体力向上 自分の目標をやりとげる ◎毎日5分の運動習慣 授業改善

■目標を達成するための重点項目「校内研究の充実」「校内研修の充実」「特別支援教育の充実」

どの子どもも分かる・どの子どももできる授業の工夫～各教科におけるユニバーサル化をめざして～

研究発表に向けて土台づくり①簡単(分かりやすい) ②快適(楽に参加) ③安心(失敗OK) ④柔軟(個人差対応)

①楽しい授業 どの子どもにも「わかる・できる」の授業づくり ②学年での社会・理科交換授業 ③読書指導の充実 ④学年で教材・単元づくり	①配慮を要する児童の理解を特別支援校内支援委員会・体制の充実 ②縦割り活動を通しての関わり ③クラス別集団遊びの実行 ④学年でのイベントづくり	①運動量2倍計画 副読本の使用 ②5分間運動の継続プログラム ③家庭と連携で基本的な生活習慣の徹底指導 ④命を守る安心・安全指導の徹底
---	--	--

■目標を達成するための具体的方策 学年会を毎週実施⇒学年主任の月ごと計画づくりと評価 OJTの充実

○知識技能の習得と意欲の向上 ①各教科,毎時間の授業の構造化 ②東糀谷学習スタイル共通化 ③算数における共通教材を使用 ④個に応じたコース選択学習量設定 ⑤視覚教材を活用 ⑥補習教室と家庭学習の計画実施	○関わり方ソーシャルスキルの指導 ①ふわふわ言葉を徹底使用 ②活動の後は認め合い励まし合い ③「ありがとう」を言う言われる ④生活指導の共通理解と実施 ⑤力の指導はしない。 丁寧に穏やかぶれずに根気よく	○楽しさ、運動習慣の獲得 ①学年で単元ごと運動の場づくり ②6年間主義・学校共通カードの使用 言指導」の繰り返し指導 ③楽しい大会の計画・実施 ④命を守る具体的行動の指導
---	---	--

■目標の実現に向けた学校経営力向上のための基本な考え方

教員一人一人の学校経営参画意識を高め、学校経営計画に基づいて、教育目標を実現させるためにチーム共同できる組織体制を強化する。そのために

- ①**目標** 本年度の重点項目の達成に向けて「どのような児童になればよいのか」明確に共通理解する。
- ②**役割** 特に組織における自己の役割を自覚し責任を果たすこと(学年・三部会・教務事務・教科)
- ③**効率** 仕事の仕方を常に見直し優先順位、時間効率、見通し意識をもち「働き方」を変化させる。
- ④**予防** 徹底した連絡・報告をすることを通して、課題の早期発見・丁寧な初期対応に全力を込める。

■経営力向上のための方策

人材育成	校務改善	家庭・地域との連携
○主幹・主任の責任役割意識の向上 ○期待される場で、力を発揮する	○全ての時間管理徹底 ○業務研修・研究以外で3割削減	○信頼回復 ○具体的な協力事項を明確に発信
①主幹会議 8:05 毎日10分会議 ②起案システムとてOJTをする。 ③学年会で学年指導向上ポイント制 ④若手学年主任会を主幹で指導育成 ⑤OJT研修はITC活用を継続	①働き方改革をすることを家庭へ ②20時以降の残業記録 ③教員室の静か宣言 ④プレミアムフライデーの実施 ⑤紙ベース保管からパソコン保管へ	①学校・家庭・地域・専門機関との3歩はやめの連携 ②問題指導事項はカードで保存 ③報告は一秒後、記録はその場で。 ④みんながみんな知っている状態